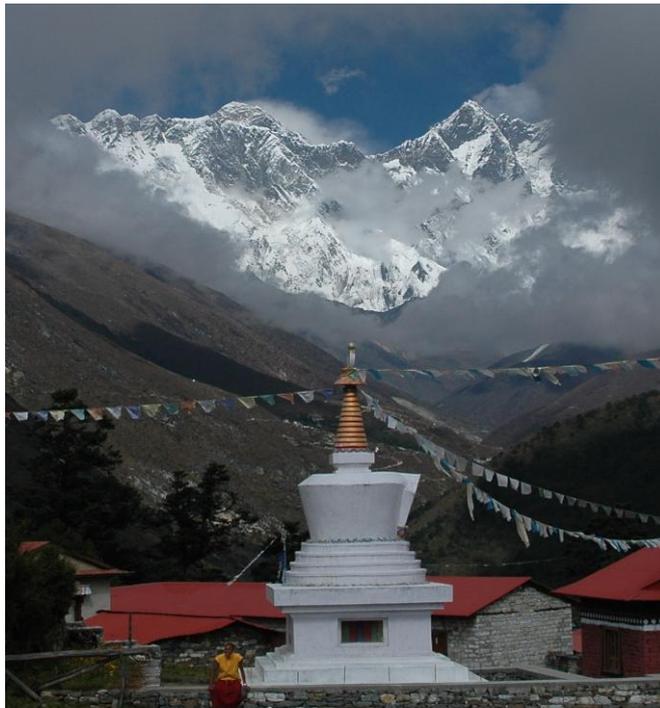


会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2011年11月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2011年11月10日発行 通巻223(毎月1回発行)

ワンコイン講習会に

参加しよう

11月号 目次

11月号 目次		2
花博士の花たより	中原 紀代治	3
支援活動報告	神田 武治	4
全国評議会報告	鶴田副理事長	5
房総ロングハイク案内	桑原ハイキング委員長	6
関東ブロック自然保護集会参加報告	菅井自然保護委員長	9
2011年度クリーンハイク報告	自然保護委員会	10
第5回 ワンコイン講習会案内	女性委員会	11
房総郡界尾根縦走案内	相馬 一雄	12
県連たより		13
予定表		14

表紙説明

表紙写真は、エベレスト街道タンボチェチからのゴンパとエベレスト」
です。

千葉県連盟・45周年記念トレッキングで10月15日から29日まで、
ネパール・エベレスト街道に行ってきました。

参加者は8名と少なかったが、クーンブ山群の名峰を心ゆくまで眺めてき
ました。エベレスト、ローツェ、アマ・ダブラム、カンテガ、タムセルク、
コンデ・リ等

心ゆくまで堪能しました。

参加者の皆さんお疲れ様でした。

千葉県連盟 広木 国昭

花博士の花便り シュウカイドウ (秋海棠)

ふわくハイキングサークル 中原 紀代治

10月に入り、散歩コースに「10月桜」が咲いています。10月桜は、春秋に2回、白とピンクの咲き分けの八重の花が咲きます。秋の花は春より小さめです。

9月末に、御岳山へ行きました。花の少ない時期でレンゲショウマが群落の地では花は終って種がなり、オクモミジバハグマのちじれた花や同じ仲間のカシワバハグマやオオバショウマの白い穂花が寂しげに咲いていました。

御嶽神社に向かう宿坊道路沿いには、ツリフネソウとシュウカイドウの花が、赤紫やピンクが目立って咲いていました。

シュウカイドウの花は、中国原産でベゴニアの仲間です。春に咲くハナカイドウに似て秋に咲くところから秋海棠と名づけられたそうです。花の咲き方が同じ株に雌花と雄花の咲く（雌雄異花）です。良く観ると上向きに咲く白っぽい雄花と下部にぶら下がる様に咲くピンクの雌花は、別の花に見えて綺麗です。

これらを観て御嶽神社の山頂へ向かいました。驚いたことに、御嶽神社の長尾平の分岐に立っていた大杉が倒れて階段が上がれない状態でした。先週の台風で倒れ、大き過ぎて直ぐに撤去出来ないとの事です。右手の坂道を歩いて参拝し、近道を長尾平に向かいました。斜面には葉の形が亀に似る、カメバヒキオコシとセキヤノアキチョウジの青色の小さい花が咲いていました。長い花の名前ですが、関所の近くに丁子の形で秋に咲いたことから付いた名で、名前の由来で分り易いですね。この日は、七代の滝に下りましたが、タマガワホトトギスや、イワタバコの花も終りでした。観たい花は咲く時に行くしかないですね。



シュウカイドウ



秋 桜

石巻支援活動に参加（3回目）

H23年9月16日～19日 君津ケルン山の会 神田 武治

君津ケルン山の会では、震災発生1カ月に2名、100日目に3名、半年過ぎた今回、女性1名を含む4名が参加できた。16日西船橋南口から吉田理事長の車に同乗させてもらって20時出発。翌日、今回は石巻から牡鹿半島をぐっと南下、大原の公民館で作業のミーティング後大原浜の現場へ。仮説住宅の庭に駐車。山際を流れる、細い流れの中田川の清掃である。川はガレキで埋まり、山の斜面10m位の所までガレキが散乱している。川と道路の間は、田んぼだったのだろうか、今は夏草が生い茂っている。ガレキを拾い上げて川のわきに仕分けして積み上げたり、草を刈ったり思いおもいに汗を流す。気がつくとき観光バスが3台停った。

大勢下りてきて仲間に加わる。若い人が多く元気がいい。ドロに埋まっていたミニコンプもレッサーも一緒に引き上げてしまった。14時頃彼らが帰る頃には、すっかり打ち解けて、お互い大きく手を降って見送った。最初は小川だった中田川もコンクリート舗装されてきて海が近くなる所では、杉の木に覆われて来た。一瞬だじろぐ感じだが、丁度急な登りをザックを担いでゆっくり登るときのように、木を切ったり、枝を一つひとつ取り除いたり、気がつくときすっかり綺麗になっているのに驚く。

二日目の朝、現場についてみると昨日はガレキに埋まっていたところが、綺麗に澄んだ水が流れている。水の中の小石まで洗われて沢の源流に近い流れのようで感動的である。瓦がいっぱい出てくるところがある。一枚いちまい拾い上げているとその中に、仏壇の線香立てやいろいろな器など普段の生活用品がそのまま出てくる。そして色々とハプニングもあった。ドロの中から幾つもの時計を次から次へと拾い上げる人や、小さなドジョウを見つける人、極めつけは皆さん騒いでいるので何かと行ってみると、直径3cmはありそうな大きなウナギが籠の中でぬらぬらと動き回っている。綺麗になった流れにそっと離してやると、ゆっくりと海の方へ滑っていった。海までは100m位だろうか。夕方帰るとき、仮設住宅の老夫婦が玄関前で静かにお辞儀をされていた。一日も早くもっと明るく元気な姿になってくださいと願う気持ちでおじぎを返すのみだった。理事長はじめ、皆さんお世話になりました。

お願い

千葉県連盟は、東日本大震災支援活動を4月より「気仙沼市唐桑半島」「石巻市」において、延参加者数250余名の参加で継続しています。（7月15日現在）この活動は、千葉県連盟45年の歴史から生まれた底力の結集ではないでしょうか。そして、各会の代表者・先頭に立って奮闘している吉田理事長の熱意も大きいと思います。何よりも、山行を自粛し、自費で参加している会員の皆さまの心意気が伝わってきます。

千葉県連盟の歴史に大きな足跡を残すであろう、今回の支援活動をまとめて置きたいと思えます。つきましては、各会での支援活動のまとめとご協力をお願いします。

県連盟の支援活動への参加・協力状況、県連名以外の支援活動への参加などをお知らせ願います。

千葉県連盟 役員会

第29期 第2回 評議会 報告

評議員 鶴田 秀雄（千葉県連副理事長）

【期日】2011年11月3日 10:30～16:00

【場所】全国連盟事務所

【議題】個人会員制度 第2次案 提案 討議

【出席】評議員定員54人中40人出席 成立

I. 西本会長挨拶

討論、解釈にこだわらず前向き、建設的な意見を期待する。

II. 議題提案

1. 本議題に関する時系列見通し（斎藤理事長）

今回の議論を踏まえて年内に総会議案としてまとめ2012年2月の総会に付議する。

2. 第2次案の提案（大澤組織部長）

第1次案との主な相違点のみ以下に記す

①全国連盟制度として実施、準備の出来た地方連盟から遅くとも5年程度を目途に導入する（一次案では3年程度を目途に導入する）

②年会費変更

1次案の6000円を8000円とした。学習費用と事務管理費用負担額を増額修正。

③地方連盟の役割の明確化

地方連盟は個人会員同士また個人会員と組織会員との交流・仲間づくりに努力する。これに必要な費用を、個人会員制度導入を決定した地方連盟を対象に地方事務費として交付する。

④山行管理システムのイメージアップ

III. 質疑応答、討議

1. 入り口での反対意見、懸念意見再出

①個人会員制の導入は労山内部に不団結を生む、来年総会に付議してほしくない（京都、愛知）。個人会員を勧めるのは従来の労山の理念や動きと逆行（奈良）

②登山界、登山者の動向という背景分析、労山の従来の活動総括をすべき。これらもせずになぜ個人会員制導入なのか（大阪、新潟）

2. 現状の人員、体制では事務管理、山行管理の負担増に応じられない、

大多数の会、会員の無関心等の理由で様子見とする（茨城、岡山、東京、長野）

3.個人会員制は一つの選択肢として取り入れる方向だ。（石川、埼玉）

4.導入を積極的に取り入れようという発言。

県連としては、5～6年前から検討していた（福岡）

出発の 때가来た、船は出るよと、という認識(滋賀)

2008年から、個人会員制を取り組んでいる。大事なのは個人個人が自分たちの楽しめる山行だ。（沖縄）

5.二次案の制度に対する質問、疑義、要望

①会費が組織会員に比べて安いので、組織会員が個人会員に流れるおそれがあるのではないか。

②地域により享受できるサービス内容に濃淡があるのではないか。

③参加条件が厳しいのではないか。

④山行管理は全国連盟でやってほしい。

IV.まとめ

なにがなんでも来年2月に導入するという事ではない。本日の議論を踏まえて、背景論議をすることも含めて来年2月の対応を考えたい。

【所感】

本日の会議の目的は第2次案の内容に対する質疑であったが、入り口での反対、疑問視の意見が再び続出した。あらためて「個人会員制度」が登山観と大きくかかわっていることを感じた。

以上

千葉県連盟として注目すべき発言

・全国連盟から提案された「個人会員制度導入第2事案」によって個人会員制度を実施することには基本的に賛成する。但し、地方連盟の実情にあった制度運用が実施できることが条件である。

・「顔の見えない」個人会員と既存会・会員との関わり方、山行管理をどのように実施するのか不安である。これらは実施する中で解決して行く事が重要であり、導入時から完璧な制度は求めない。

・2012年2月の総会を待たずに、「個人会員制度の実証区」を設定し、問題点などを

明らかにして、この制度をよりよい内容にして行く事も必要である。

第28回房総ロングハイキング（紅葉ハイク）のお知らせ

ハイキング委員長
桑原 年一

- ・主 催 千葉県勤労者山岳連盟・ハイキング委員会
- ・日 時 2011年12月4日（日）～12月5日（月）（1泊2日）
- ・集 合 七里川温泉：沖津屋 4日（日） 17時20分集合
5日（月） 6時30分集合
（当日参加可）
沖津屋：君津市黄和田畑921-1 電話0439-39-3211
フリーダイヤル0120-397-428
- ・コース 七里川温泉脇～県道市原市天津小湊線～吊り橋～川台歩道～大櫓歩道
～四郎治林歩道～四郎治林道～橋の沢林道～郷台林道～郷台作業所～
柚ノ木歩道下～猪ノ川林道～黒滝～折木沢
- ・募集人数 約60人
- ・参加費 6,000円（一泊二食・弁当・移動費）
当日参加 1,000円（弁当・移動費）
- ・締 切 11月14日（月） 各会責任者に申し込む事
- ・“千葉の最高の紅葉ハイクを楽しむ”
前日は、七里川温泉の露天風呂などでゆっくり過ごして戴き、次の日は温泉から、七里川の紅葉を見ながら歩き吊り橋を渡り、追原の大櫓を経て四郎治林歩道～四郎治林道～（モミの巨木を見る）～橋ノ沢林道～郷台作業所の見学をしてから猪ノ川林道の紅葉を見ながら長崎十字路までのロングハイキングです。
- ・直接電車で参加の方 （千葉発 12：39）
- ・往路電車利用者 久留里線・木更津発 13：39～上総亀山着 14：42
〃 15：35～ 〃 16：40
上記着の時刻に合わせて送迎車が出ます。
- ・自家用車利用者 直接七里川温泉に来てください。駐車スペース10台位あり
（出来れば JRでお願いします）
- ・行動予定
12月4日（日）15：30～ 受付開始
17：30～ 挨拶、特別講演、ガイダンス（日程・コース説明）
18：30～ 夕食、交流会、就寝
12月5日（月）6：00 起床
6：30 朝食（弁当を受取る・食事は自由）
7：00 ロングハイク出発（当日参加者は時間厳守）

	15:00	長崎十字路ゴール	後亀山駅・駐車場に送る。	
・復路電車時刻	上総亀山駅発	16:01	木更津駅着	17:05
	〃	16:56	〃	18:06
	〃	18:00	〃	19:06

尚、東葛地区（東葛・松戸・柏・我孫子）はバスを利用して、下記の如く前日に山行してから集合地（七里川温泉）に行くことにしました。

参加費 10,000円（バス代、1泊2食、弁当代）

・1日目（4日） バス・松戸発 6:30～我孫子駅～鎌ヶ谷市役所 8:00発
（参加人数により変更あり）

山行 「養老溪谷～栗又の滝」（紅葉鑑賞）歩行 約3時間40分

・2日目（5日） 全体山行

・申込み問合せ連絡先 実行委員長 中原 紀代治（ふわくハイキングサークル）

TEL・FAX 0475-34-4757

千葉県連名では、ふるさと房総 の自然を知る・楽しむ・守る・活動に取り組んでいます。「房総ロングハイク」は28回・「房総郡界尾根縦走」は11回です。

この取り組みは、ハイキング委員会と地元「ふわくハイキングサークル」の協力があって、息の長い人気のある取組みとなっています。

ふるさとの山・自然に寄せる思いを大事にしている取り組みに参加してください。

「房総郡界尾根縦走」には、県外からの参加もあります。参加者からは房総の自然の素晴らしさが寄せられています。その中には、房総の地酒・肴のおもてなしへの感謝の言葉があります。山中温泉での地元の方々との交流には、大きな感銘を受けた、この取組みが長続きしている理由がわかったなどの声が届いています。

千葉県連盟は、七里川を守る「追原ダム建設反対」「鬼泪山の国有林を守る」運動に取り組んできました。これらの運動に勝利することが出来た事は、房総の自然を想う「ふわくハイキングサークル」日常活動があったからです。

この二つの取り組みは、千葉県連盟の超目玉の大人気の取り組みです。

申し込みは、早めをお願いします。

機関紙委員会

関東ブロック自然保護担当者交流集会 報告

自然保護委員長 菅井 修 (ちば山の会)

10月15,16日、関東各県からおおよそ30名が参加し長瀨で開催された。

14:00～15:00 講演「秩父の自然(山)と武甲山」 野口 あき永氏

秩父山地の植林生態系調査と保護活動。

秩父盆地の地質とその成り立ちから始まり武甲山の地質や武甲山信仰、開発の歴史をかなり専門的に解説された。採掘に伴い、石灰岩地帯特有の植物が失なわれてしまった。石灰岩の採取は現在も続いているが、採掘の終わった所は植生の回復作業が行われている。

15:20～17:30 各県連よりの発表。

茨城 神奈川 群馬 千葉 東京 栃木 山梨 埼玉 の順で今年度のクリーンハイク集計、東北災害支援活動と各県連で抱えている問題などが報告された。

千葉からは鬼泪山の報告も行い署名活動協力のお礼を述べた。

山梨からリニア新幹線についての問題提起があったので少し詳しく報告します。リニアについての問題点は世間一般ではほとんど問題にされていないが次のような問題点があることが指摘された。

- ① 建設費用
- ② 採算性 現在の東海道新幹線の利用率はおおよそ50%強 両方共倒れ?
- ③ 自然破壊 塩見岳の真下南アの幅50キロに対しトンネルの最長は20キロ。何度も地上に出る。中央構造線や破砕帯の危険地帯。廃砂問題など2次的自然破壊も?
- ④ 東海大地震 その影響はどうか。
- ⑤ 消費電力量 消費量は新幹線の3～40倍? 新幹線とほぼ同じだけ走らせると544万kW/日。これは原発5基分に相当する。この電源をどのように確保するのか。原発とセットも懸念される。
- ⑥ 地元の財政を圧迫
リニアは特段に南アの自然に大きなストレスとダメージを与える。山岳関係団体は徹底したJRに対し情報公開を迫り、アクションを起こす事が必要であると訴えた。

また山梨からは富士山一周トレランに対する危惧も出された。

18:30～食事 地元の保存会の皆さんによる秩父音頭の演奏と踊り

16日 武甲山 現地見学調査を実施した。

☆ 来年度の関東ブロック自然保護集会は、千葉県連盟の当番です。
各会・会員の皆様のご協力をお願いします。

2011年 千葉県連クリーンハイク集計結果

自然保護委

員会

☆ 各会にて実施

実施日	会名	場所	参加者	不燃	可燃	総重量
2010/11/28	岳人あびこ	手賀沼23km	16			6
4月10日	松戸山の会	江戸川河川敷	30	125.5	63	207
5月21日	シリウス山の会	棒ノ峰	21	2.3	0.9	3.2
5月29日	県連統一	鬼泪山	46	700	100	800
6月5日	こまくさハイキングクラブ	養老溪谷周辺	41	36.2	12.2	48.4
6月5日	君津ケルン山の会	白狐トビ岩	4	2	3	5
	市川山の会	三番瀬	20	8	12	20
	合計		178	874	191	1089.6

☆ 県連統一にて実施 参加 7会 46名

ふわくハイキングクラブ	17	こまくさハイキングクラブ	5
ちば山の会	11	東葛山の会	4
君津ケルン	5	船橋山の会	3
山の会岳樺	1		

- ・ 岳人あびこの実施日は例年11月なので、昨年11月分を今年度の集計に入れます
- ・ 資源ゴミなどがあるため不燃ゴミと可燃ゴミの計と総重量の集計値は異なります

参加者の感想

- ・ 登山道や山にはゴミが少なくなっている。しかしこれからもこの様な運動を続けていくことが大事だと思う
- ・ 車が入れる林道になると林道脇が目立たない谷などに大量の粗大ゴミがある場合が多い。とても我々の手に負えるものではない。
- ・ 道路脇にはドライバーの捨てたゴミが目立つ。ドライバーのモラルの問題だ。クリーンハイクを労山以外の一般にもっと大々的に宣伝できないか。

第5回ワンコイン講習会

主催 千葉県連盟女性委員会

体に優しい トレーニング

楽しく学ぶ・正しく学ぶ

会員外・当日参加も大歓迎です。誘って一緒にどうぞ。

実施日 H23年11月27日(日) 13時~16時

場所 市川市文化会館(JR総武線 本八幡駅下車)

参加費 ワンコイン(500円)

問い合わせ先:千葉県勤労者山岳連盟 ホームページ事務局への問い合わせまで

講師紹介

「鳥越 章夫」先生(全国連盟遭難対策部所属)
バランス講習会で全国的に好評を得ています。山行では「バランス感覚」が特に重要です。残念ながら「バランス感覚」は急激に衰えます。特に、高齢者は体力の衰えより、バランス感覚が先に衰えます。鳥越先生は、豊富な経験で千葉県連盟・全女性の期待に応えてくれます。

ワンコイン講習会とは

女性委員会は、いつまでも山に行ける体力を維持するための

「実技講習会」を行なっています。

楽しく学ぶ・正しく学ぶ を目標に、実施しています。

大勢の参加をお待ちしています。特に男性の参加を歓迎します。

第11回房総郡界尾根縦走案内書

(冬こそ房総の山旅)

企画者 相馬 行雄
(ふわくハイキングクラブ)

親潮がもたらす暖かく自然豊かな房総丘陵は冬が歩きどきです。房総半島の深部；安房と上総の境尾根を東へと辿りながら3日間かけて歩きませんか。

記

- 日程 平成24年1月7日(土)～9日(月・休日)
- 集合場所 浜金谷駅前(千葉駅発 JR内房線 6:57 発安房鴨川行で浜金谷駅下車)
- 集合時間 8時10分
- コース 7日 金谷(8:40) → 鋸山 → 嵯峨山 → 山中(テント泊)
8日 山中(8:30) → 木ノ根峠 → 横尾林道 → 尚武山 → 柚ノ木林道 → 小町峰峠 → 鴨川(テント泊)
9日 鴨川(8:00) → 元清澄山 → 郷台林道 → 清澄(14:00 コール)
(清澄からは自費にて バスまたはタクシーで天津小湊駅へ →18:00 頃千葉駅)
- 参加費 6,500円 事務費、ポイント費等、食材費(7日夕、8日朝・夕、9日朝・昼として3,000円含む)
- 装備等 雨具、防寒衣、食料(7日と8日の昼食)、手袋、笛、着替え、帽子、水筒(ペットボトルでも可)、コップ(お椀2コでも可)、カップ、箸、ヘッドライト(換え電球・電池も)、洗面具、エアマット、シュラフ、銀マット、地図、常備薬、嗜好品等
- 募集人数 30名(先着順とします)
- 留意事項
- ・参加は1日でも可(但し車にて参加の方に限る)
 - ・参加者は必ず所属会に登山届を出して許可を得てください。
 - ・テント、鍋、ランタン等の共同装備の提供をお願い致します。
 - ・縦走途中で水の補給はありません(スタート時と山中では補給可)のでペットボトル1.5リットル程度準備願います。最終日は有料にて手配できます。
- 申込締切日 12月15日
- 連絡先
- ・相馬行雄 〒299-0261 袖ヶ浦市福王台3-3-17
Eメール sumire_no34@jcom.home.ne.jp
 - ・往復ハガキまたはメールにて、お願いします。
 - ・所属会名・住所・tel・を記入のこと。
 - ・持参協力できる共同装備等を記入(テント・ツェルト等)
- その他 地図 2万5千分の1(保田・金東・鴨川・坂畑・上総中野・安房小湊)

以上

県連たより

県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
newstoukou@cwaf.jp
- ◎ 事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず送付の事
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東北関東大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00130-7-595190
加入者名 佐藤 勝子
〒272-0023
市川市南八幡 1-25-16

★ 助けてください

事務局のお手伝いをお願いします。

事務所の片付け・資料の整理などを、空いた時間でお手伝い下さい。一人でもお友達と一緒にでも大歓迎です。

連絡は：広木まで・連絡先

県連盟よりのお願い

- ◎ 10月15日から29日まで、千葉県連盟45周年記念トレッキングが実行された。参加者総勢8名がネパール・エベレスト街道の絶景を堪能した。詳細報告は、12月号に掲載予定。楽しみにして下さい。
- ◎ 東日本大震災支援活動
4月より、各会・会員の皆さまの参加をいただき、毎月第1・3土日気仙沼・石巻地域で支援活動を実施して来た。現地と協議の結果12月・1月は支援活動を一時休止し、2月から再開する。
引き続き大勢の会員皆様の参加をお願いしたい。
- ◎ 11月3日に全国評議会が招集されました。「個人会員制度第2次案」の討議が中心議題でした。
・評議員：鶴田副理事長（ちば山）
・傍聴者：松尾組織委員（こまくさ）が出席しました。
賛否両論あるが、中身を検討せずに反対の地方連盟もある。（3県連）鶴田評議員の報告を掲載してあります。ぜひ、一読をお願いしたい。
「個人会員制導入」に関する、意見質問をお待ちしています。

問合わせは 広木まで

Eメール

danphiro@zpost.plala.or.jp

090-8316-2020

県連活動予定表

11月		予定	12月		予定
1	火	役員会	1	木	
2	水		2	金	
3	木	全国評議会	3	土	房総ロングハイキング
4	金		4	日	〃
5	土	大震災支援活動	5	月	
6	日		6	火	役員会
7	月		7	水	
8	火		8	木	
9	水		9	金	
10	木		10	土	
11	金		11	日	
12	土	事故防止交流集会(さざんかの家)	12	月	
13	日		13	火	
14	月		14	水	
15	火	ハイキング委員会	15	木	理事会
16	水		16	金	
17	木	理事会	17	土	
18	金		18	日	
19	土	大震災支援活動・自然保護集会	19	月	救助隊定例会
20	日	〃 〃	20	火	
21	月	女性委員会17時・救助隊19時	21	水	
22	火		22	木	拡大検討部会
23	水		23	金	
24	木	拡大検討部会	24	土	
25	金		25	日	
26	土		26	月	
27	日	ワンコイン講習会(市川文化会館)	27	火	
28	月		28	水	
29	火		29	木	
30	水		30	金	
			31	土	

発行:千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷1-29-18 レジデンス幕張台101号

TEL・FAX 043-306-1190 Eメール rousanchiba@grape.plala.or.jp

発行責任者:吉田 哲治 編集者:広木 国昭